

令和2年度 富山国際大学 学務部自己点検評価報告書

I. 概 要（現状と課題）

II. 委員会・部会（評価・課題）

1. 学務委員会

（1）学務委員会

（2）教養教育部会

（3）FD 推進部会

（4）教職課程委員会

2. 図書館委員会

3. 情報センター運営委員会

4. キャリア支援センター運営会議

5. 国際交流センター運営会議

III. 業務運営状況（評価・課題）

1. 教務課業務

2. 図書館業務

3. 情報センター業務

4. 学生課業務

5. キャリア支援センター業務

6. 国際交流センター業務

IV. その他

令和3年3月
富山国際大学 学務部

I. 概 要 (現状と課題)

学務部各部門における令和2年度実施内容については、主にアクションプランで設定した達成目標を含め、実施した内容について取りまとめた。

1. 教務系部門 (教務課、情報センター、図書館)

平成29年度からスタートした副専攻プログラムに関して、本年度はグローバル人材育成プログラム、地域創生人材育成プログラムともに申請者はいなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りのオリエンテーションが実施できず、副専攻プログラムの広報活動が十分でなかったことが原因と考えられる。令和2年度終了時点では、グローバルで1名、地域創生で4名の修了者を送り出すことができ、今後申請者のアフターフォローを遂行しながら、引き続きグローバル人材、地域創生人材の育成の支援にあたっていく。

Web シラバス運用も軌道に乗り、今後の更なる積極的な活用が必要で、特に、今後到達目標と成績評価との定量・定性の関係を分析していくこととなる。

また、学修意欲を評価する GPA を活用した「退学勧告」制度も学生や教職員に周知されるとともに、2019 年度からは GPA 優秀者に対するキャップ制の緩和も実施し、学生の勉学意欲の向上を図っている。

学生への教育活動は3つのポリシー (ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー) に基づいて進められているが、このうちカリキュラム・ポリシーに定めのある「教育評価」については、より具体的な評価方法を検討してアセスメント・ポリシーの策定に向けて議論を重ねた。アセスメント・ポリシーの全体的な方向性は出され、ディプロマ・ポリシーとの関連における学修成果の可視化については、2021 年度のそれぞれの科目のシラバスに割合を記載し、データを蓄積することとなった。なお、2020 年度は学習成果の可視化の一環として、卒業論文のルーブリックを作成し、2021 年度から運用することになり、次はプレゼンテーションのルーブリックを完成させる予定である。

また令和2年度は、学生が自分の現状を把握し目標を具体的に設定するためのツールとして、e ポートフォリオの導入について検討する。

情報分野では、スマホ慣れした学生に向け、就職・教育現場等で必須活用となるパソコンを斡旋し利用促進に努めたところ、令和2年度では新入生全体で167 (現代社会学部88、子ども育成学部79) 台余り購入し使用している。そのためのネットワークサービスが肝要であるため、特にネットワーク専用線の増強やWiFi 環境の改善に向けて検討し予算化を学園情報教育研究センター内で組み、本学が中心となって情報化推進を加速化させることとなった。

図書館の利用状況は、昨年度は新型コロナウイルス感染予防対策の一環で、一時閉館や入館制限なども行ったこともあり、全般的に貸出冊数も利用率も下降した。なお、来館の不具合解消のためと、時代の流れから電子書籍の導入を増加させた。また引き続き、特に東黒牧キャンパスでは図書サークル活動を活性化させ、利用率アップを図っていく予定である。

2. 学生支援部門 (学生課、キャリア支援センター、国際交流センター)

新型コロナウイルス感染症の影響により感染対策として、対面授業から ZOOM による遠隔授業が多くなり、学生自身も学校に来る日数が少なく、各種行事が中止になるなど寂しい1年となった。その中で、本年度取り組んだ内容として、東黒牧キャンパスにおいては、昨年に続き、学長裁量経費 (学務部申請) の採択を受け、冬場の賑わい創出の一環として学友会と学務部関係教職員とが協働でクリスマス・イルミネーション、クリスマスツリーの設置を行うことが出来、キャンパス内を活気づけた。

経済的な支援を要する学生への奨学金支援、諸活動入学生に対して文武両道を図るための GPA (2.0 程度) の厳守と厳格な指導を心掛けた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、アルバイト収入が減少し、経済的に困窮し学業に支障が出ている本学学生を対象に後援会からの支援を受け後援会独自の給付奨学金を創設した。

「夢への架け橋助成事業」については、応募件数が平成29年度は8件、平成30年度は16件、令和元年度、11件と、令和2年度は8件とここ数年応募総数が安定している。これまでの広く浅くという支援のあり方を、令和2年度はカテゴリー (A30 万円コース・B20 万円コース・C10 万円コース) ごとのコンペ形式に変更した。また、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から初めての試みとして ZOOM による審査を実施した。

豊かな学生生活を送るための支援活動として、例年、学友会などの活動を教職員が積極的に支援し、スポーツ文化交流会、大学祭などを企画・実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響より、スポーツ文化交流会は中止となった。大学祭も中止の方向で検討されたが、学生からの強い要望で、東黒牧キャンパスでは初めて ZOOM によるオンライン大学祭を開催した。また、子ども育成学部は大学祭の代替イベントとして12月にBIGクリスマスを実施した。

国際交流に関する支援では、現代社会学部の留学生へのケアや全学学生の留学をサポートしている。

令和2年度は、就職活動解禁直前に新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し、対面式の合同企業説明会が軒並み中止となり、就職活動に臨む学生は不安を抱えながらのスタートとなった。そのような状況下で通学にも制限

がかかり、状況把握と支援が困難であった。しかしながら、現代社会学部では、2月に対面式の学内企業研究会を開催し、就職活動解禁前に企業研究の機会を設けていたことと、大学ホームページを利用した求人案内や学外イベント等の情報配信、そして、Zoomを活用した面接指導などを実施し、就職率100%を達成した。そのため、卒業時アンケートでも就職支援に対する学生の評価は、この5年間で一番高かった。

3. 基本情報

・令和2年度 在籍者数（令和2年5月1日現在）

2020年度富山国際大学在学者数

2020/5/1現在

			男女別数		県内外別数		男女県内外別数				
学部		学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
1 年生	現代社会	現代社会	114	72	42	102	12	63	39	9	3
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子ども育成	子ども育成	90	20	70	88	2	19	69	1	1
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		204	92	112	190	14	82	108	10	4
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0

			男女別数		県内外別数		男女県内外別数				
学部		学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
2 年 生	現代社会	現代社会	145	90	55	125	20	73	52	17	3
	休学		3	2	1	3	0	2	1	0	0
	子ども育成	子ども育成	98	16	82	93	5	16	77	0	5
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		243	106	137	218	25	89	129	17	8
	休学		3	2	1	3	0	2	1	0	0

			男女別数		県内外別数		男女県内外別数				
学部		学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
3 年 生	現代社会	現代社会	120	80	40	92	28	62	30	18	10
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子ども育成	子ども育成	96	20	76	95	1	20	75	0	1
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計		216	100	116	187	29	82	105	18	11
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0

			男女別数		県内外別数		男女県内外別数				
			男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外	
学部	学科	総数									
4 年生	現代社会	現代社会	107	65	42	85	22	55	30	10	12
	休学		1	1	0	0	1	0	0	1	0
	子ども育成	子ども育成	115	23	92	112	3	22	90	1	2
	休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0
	合 計		222	88	134	197	25	77	120	11	14
	休学		2	1	1	1	1	0	1	1	0

			男女別数		県内外別数		男女県内外別数				
全学年	学部	学科	総数	男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
	現代社会	現代社会	486	307	179	404	82	253	151	54	28
	休学		4	3	1	3	1	2	1	1	0
	子ども育成	子ども育成	399	79	320	388	11	77	311	2	9
	休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0
	合 計		885	386	499	792	93	330	462	56	37
	休学		5	3	2	4	1	2	2	1	0

※表内人数には交換留学生を含まない。

※合計には休学者数を含む

・令和２年度 退学者数等（令和３年３月３１日現在）

《現代社会学部》

	１年(R2 年度)	２年(H31 年度)	３年(H30 年度)	４年(H29 年度)	計
入学者数	114	146	127	108	495
３月末現在在籍者	114	140	116	100	470
留年者数	0	0	4	2	6
小計	114	140	120	102	476
退学者	0	6	7	6	19
退学率	0.00%	4.11%	5.51%	5.56%	3.84%

《子ども育成学部》

	１年(R2 年度)	２年(H31 年度)	３年(H30 年度)	４年(H29 年度)	計
入学者数	89	99	91	116	395
３月末現在在籍者	89	98	91	112	390
留年者数	0	1	0	0	1
小計	89	99	91	112	391
退学者	0	0	0	4	4
退学率	0.00%	0.00%	0.00%	3.45%	1.01%

・令和２年度就職内定状況

令和３年５月１日現在

単位:人

学部	性別	学生数	内休学者数	卒業者数	就職希望者	内定者	内定率	未内定者	進学・留学希望者	内進学留学決定者	進学も就職もしない	卒業延期者
現代社会	男	65	1	60	55	55	100.0%	0	0	0	5	4
	女	42	0	42	34	34	100.0%	0	1	1	7	0
	計	107	1	102	89	89	100.0%	0	1	1	12	4
子ども育成	男	23	0	23	20	20	100.0%	0	3	3	0	0
	女	92	1	91	86	86	100.0%	0	2	2	3	0
	計	115	1	114	106	106	100.0%	0	5	5	3	0
合 計	男	88	1	83	75	75	100.0%	0	3	3	5	4
	女	134	1	133	120	120	100.0%	0	3	3	10	0
	合計	222	2	216	195	195	100.0%	0	6	6	15	4

※上記表には、現代社会学部９月卒業生１名（女子１名）を含む。

・令和2年度図書館基本情報

【貸出冊数】

＜東黒牧キャンパス＞

東黒牧C		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	11	0	26	110	23	48	107	146	109	109	12	0	701
	人数	7	0	15	71	15	27	69	88	67	74	4	0	437
研究生	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴講生	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学教員	冊数	31	0	1	2	18	5	16	9	6	5	1	31	125
	人数	6	0	1	2	3	4	5	5	4	1	1	8	40
非常勤講師	冊数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	人数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
職員	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	6
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
臨時職員	冊数	2	2	1	0	2	9	6	8	2	3	4	3	42
	人数	1	1	1	0	1	4	2	3	1	3	3	2	22
学外者	冊数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	冊数	44	2	28	112	44	62	129	164	117	120	17	37	876
	人数	14	1	17	73	20	35	76	97	72	79	8	11	503

＜呉羽キャンパス＞ 短大図書館利用者を含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	20	3	93	211	212	107	528	385	276	67	46	18	1,966
	人数	10	4	49	109	87	48	290	206	140	39	26	12	1,020
短大生	冊数	51	0	541	494	103	112	258	126	217	106	42	18	2,068
	人数	23	0	341	312	51	57	153	73	149	49	21	4	1,233
研究生	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学教員	冊数	13	0	15	33	25	12	11	14	9	8	11	1	152
	人数	3	3	7	12	7	4	5	6	4	5	3	1	60
非常勤講師	冊数	0	3	15	12	7	14	23	13	21	20	4	14	146
	人数	1	3	8	5	1	6	9	6	9	9	2	5	64
高校専任教員	冊数	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
短大教員	冊数	12	32	33	41	59	62	31	33	26	26	20	10	385
	人数	11	13	17	18	18	25	21	12	15	9	12	8	179
職員	冊数	28	33	51	33	51	34	42	31	36	27	18	22	406
	人数	16	22	35	25	30	20	31	24	23	13	18	14	271
臨時職員	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
学外者	冊数	4	3	0	0	5	0	0	1	1	0	0	5	19
	人数	2	2	0	0	3	0	0	1	1	0	0	2	11
合計	冊数	128	74	748	824	462	346	893	603	586	264	141	88	5,157
	人数	66	47	457	481	197	161	509	328	341	125	82	46	2,840

【入館者数及び開館日数】 ＜東黒牧キャンパス＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	124	0	284	516	419	303	1,427	840	892	469	142	107	5,523
開館日数	14	0	21	16	16	20	22	19	19	17	17	22	203
1日平均	8.9	0	13.5	32.3	26.2	15.2	64.9	44.2	46.9	27.6	8.4	4.9	27.2

II. 委員会・部会（評価・課題）

1. 学務委員会（案）

（1）学務委員会

【目標】

富山国際大学学務委員会規程第2条に規定する審議内容のうち、令和2年度は主に次の事項を議論した。

- ① アセスメント・ポリシーについて
- ② 卒業論文・研究等ルーブリックについて
- ③ その他（新型コロナウイルス感染予防関係）

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
【第1回】 令和2年5月1日（金） 16:00～17:25 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 学生の学籍異動について 2. 子ども育成学部編入・転入学生の単位認定（案）について 3. 令和2(2020)年度科目等履修生の受入れについて 4. 第2種奨学生について 5. 2020年度「夢への架け橋助成事業」の実施について 6. 学長懇談会での学生から出た意見について 7. 2019年度学務部自己点検評価について 8. 2020年度全学学務委員会委員担当業務（案）について 9. 2020年度前期保護者懇談会について 10. 実習の基本方針について 11. 保育者養成課程科目変更に伴う学則の改正について 12. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第2回】 令和2年6月3日（水） 13:10～14:15 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 奨励金について 2. 2020年度「夢への架け橋助成事業」の募集について 3. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第3回】 令和2年7月1日（水） 13:10～15:00 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 2020年前期授業に関するアンケートについて 2. 能力特性評価テストについて 3. 前期末試験、追再試験について 4. 大学祭の開催等について 5. 強化指定クラブについて 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第4回】 令和2年8月5日（水） 13:10～15:15 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. アセスメント・ポリシー及び卒業論文・研究にかかるルーブリックについて 2. 学生カルテシステムの導入について 3. GPAの活用について 4. 学生のふり返しシートについて 5. 追再試験対象者の発表方法について 6. 大学コンソーシアム富山 後期単位互換提供科目について 7. 第1種奨学金について 8. 夢への架け橋助成事業について 9. 大学祭中止に伴う代替案について 10. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

【第5回】 令和2年9月8日（火） 13:10～15:30 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 2020 年度 9 月卒業について 2. アセスメント・ポリシーについて 3. 2020 年度授業実施方針について 4. 2020 年度学年暦の一部修正について 5. 2020 年度後期オリエンテーションについて 6. 2020 年度後期時間割について 7. 2020 年度後期保護者懇談会実施の有無について 8. 2020 年度前期授業アンケート結果について 9. 2020 年度学生生活アンケートについて 10. 科目等履修生の単位認定及び受入れについて 11. 卒業研究の評価方法について 12. 語学授業の複数クラスの成績評価について 13. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第6回】 令和2年10月7日（水） 13:10～15:20 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 学生の学籍異動について 2. 2021 年度 学年暦（案）について 3. 学生の振り返りシートについて 4. 後援会奨学金の申込期限延長について 5. 学生団体結成願について 6. 東黒牧キャンパス構内の全面禁煙について 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第7回】 令和2年11月4日（水） 13:10～14:40 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 組織改革（案）について 2. 学則改正（案）について 3. 2021 年度学生便覧編集方針（案）について 4. 卒業論文・研究等ルーブリックについて 5. 学生団体結成願について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第8回】 令和2年12月2日（水） 13:10～14:40 Zoom 会議 出席：11名 欠席：1名	1. 学生の学籍異動について 2. 教養教育科目について 3. 転学部について 4. 学務部予算について 5. 卒業論文・研究等ルーブリックについて 6. 学生生活アンケートについて 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第9回】 令和3年1月6日（水） 13:10～15:25 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 学則の一部改正について 2. 2021 年度 学年暦(案)について 3. 授業アンケートについて 4. Web シラバス入力要領等について 5. ルーブリックについて 6. 卒業時アンケートについて 7. 学生団体結成願について 8. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第10回】 令和3年2月3日（水） 13:10～14:55 Zoom 会議 出席：10名 欠席：2名	1. 2021 年度 学年暦(案)について 2. 大学コンソーシアム富山 単位互換科目について 3. ルーブリックについて（卒業研究用、レポート・プレゼン用） 4. 学納金の変更について 5. 緊急事態（雪害など）における休講等の判断基準について	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

	6. 学生団体解散届について 7. その他	
【第11回】 令和3年3月3日（水） 13:10～14:55 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 令和2年度卒業認定、進級判定(案)について（追認もあり） 2. 副専攻プログラム修了認定及び令和3(2021)年度要件変更(案)について 3. 学生の学籍異動について 4. 既修得単位認定(案)について 5. 令和3年度前期オリエンテーション日程(案)について 6. 緊急事態（雪害など）における休講等の判断基準について 7. 2021年度「夢への架け橋助成事業」について 8. 学生団体解散届について 9. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
【第12回】 令和3年3月31日（水） 13:10～15:10 Zoom 会議 出席：12名 欠席：0名	1. 学生の学籍異動について（追認もあり） 2. 令和3年度授業実施方針について（追認） 3. 災害時等の休講等基準について 4. 教養教育の理念・目標について（追認） 5. Web シラバスシステムへのログイン方法について 6. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）への対応について 7. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム検討委員会規程（仮称・案）について 8. 既修得単位認定(案)について 9. 奨励金制度について 10. 学生団体解散届について 11. 2021年度全学学務委員会開催予定(案)について 12. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

【評価】

副専攻プログラムも本年度は、グローバル人材育成プログラム1名、地域創生人材育成プログラム3名の修了者を出すことができた。

今まで相当の時間をかけて議論してきた、アセスメント・ポリシー、学修成果の一部可視化部分と卒業論文（研究）ルーブリックを確立でき、次年度に向けて運用のスタートに立てたことは、委員や教員の忌憚のない意見があったからこそ達成できたものである。

また、今後のディプロマ・サプリメントの充実に向けて、ディプロマ・ポリシーの重み付けもシラバスへの入力を試行的に導入してみた。

本年度は、発生当時に比べ新型コロナウイルス感染予防対策にしっかり注力してきたこともあって、授業や課外活動に大きな影響を及ぼす事項等は少なかったことは評価できる。

【課題】

副専攻プログラムに関しては、チャレンジする学生が少なくなっていること、コロナ禍の影響でプログラムが中々遂行できない状況になっていることを踏まえ、今後の対策を考察する必要がある。

学修成果の可視化と卒業論文のルーブリックについては、適切に運用することとなるが、その分析評価をどうしていくかを今後の課題となる。さらに、学生が自分の立ち位置を把握し目標をもって、自分への自信を高められるような学修環境にすべく、eポートフォリオの導入に向けて準備し、将来的にはディプロマ・サプリメントの実施へとつなげていく。

奨学制度については、国の学修支援制度を利用する学生が多く、経済的困窮者に対する本学の独自の奨学金制度のあり方に関しては、引き続き考えていく必要がある。

新型コロナウイルス感染予防対策については、ワクチンが頒布されても、次年度も気が緩まぬよう対策を施

し、学生が満足できる修学環境を整えていく。

(2) 教養教育検討部会

【目標】

1. 2020 年度の教養教育について

① 両学部で受講できる教養科目を検討する。

Web 講義などで、合同でできる授業の開設ができないか検討する。各学部単位においては合同できる授業科目があるのかどうか、その際の問題点や課題の洗い出しを行う。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
令和2年6月3日(水) 14:15～14:30 Zoom 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 2020 年度教養教育について 2. その他	
令和2年8月5日(水) 15:30～15:55 Zoom 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 2021 年度に向けた教養教育科目について 2. その他	
令和2年11月4日(水) 14:45～15:15 Zoom 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 2021 年度に向けた教養教育科目について 2. その他	
令和3年2月3日(水) 15:00～15:05 Zoom 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 2021 年度に向けた教養教育科目について 2. その他	

【実績・評価】

両学部で受講可能な教養科目について検討してきた。コロナ禍の影響もあり、Web 講義を加速させることができると判断し、次年度に向けて子ども育成学部が開設する「ジェンダー論」「心理学」を子ども育成学部の学生も現代社会学部の学生も Web でリアルタイム受講できるよう、ZOOM ミーティングアプリケーションを使って講義を実践してみることとなった。

また、子ども育成学部の「人間と情報」も、現代社会学部の教員が移動せず遠隔で授業を展開してみることとなった。

【課題】

① 両学部で受講可能な教養科目設置のメリットを学生の要望調査等を実施し、より明確にする。

② 2021 年度も引き続き両学部で実施されている ZOOM 授業を活用して、両学部で受講できる教養科目の設置の可能性を探る。

(3) FD 推進部会

【目標】

FD は学生への学修支援における教員の教育力向上を図ることを目的としており、今般のコロナ禍の影響で、リモートでできること、またリモートでの授業等を行うにあたっての課題等を共有できる研修や、教育研究を行う上での重要な情報共有すべき内容を設定する。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
------------	------	----

令和2年6月3日(水) 14:30～14:40 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2020年度全学FD研修会について 2. その他	
令和2年8月5日(水) 16:10～16:25 Zoom 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2020年度全学FD研修会について 2. その他	
令和2年11月4日(水) 15:15～15:30 Zoom 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2020年度全学FD研修会について 2. その他	
令和3年2月3日(水) 15:05～15:15 Zoom 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2020年度全学FD研修会について 2. その他	

・研修内容

開催日時・場所・出欠	実施内容
令和3年2月24日(水) 15:00～16:00 Zoom ミーティング 【教員参加率：87.5%】 教員出席：35名 欠席：5名 (現社：19名、子ども16名) 職員出席：20名 欠席3名	令和2(2020)年度 富山国際大学FD・SD研修会 (1) 卒業論文・研究ルーブリックについて 講師：学務部長・現代社会学部教授 大谷 孝行 氏 (2) 改正著作権法第35条運用指針等について+その他 講師：教務課長 酒井 誠

【評価】

本年度の全体の研修会は、アセスメント・ポリシー、卒業論文(研究)ルーブリックを中心に実施することで検討してきたが、改正著作権法第35条の運用指針が令和3年1月に説明会で提示されたこともあり、急遽改正著作権法第35条運用指針等についてと題し、公衆送信を行う際の著作物の取り扱いについての情報共有を行った。

その他、コロナ禍でのZOOM授業方法などの研修も各学部において実施された。

【課題】

次年度については、個人情報保護関係や、成人年齢引き下げに伴う教育の影響なども踏まえ、様々な観点から研修の企画立案し、参加率を高める研修内容にしていく。

(4) 教職課程委員会

【目標】

教育職員免許状取得の所要資格を得させるために必要な本学の教職課程の運営について審議し、教職課程の履修と実習実施に向けた資格ごとの計画立案・事前事後指導、及び履修科目の単位認定を円滑に実施させることを目標とする。昨年度から、教職課程が運用されているが、今後も質の高い教員養成に向けて学生の学びの履歴と教育効果を注視していきたい。また、本委員会は全学学務委員会の下部組織として位置づけられている。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
随時：委員相互の研究室訪問、SNSの利用、学内電話等	1. 教職課程進路希望者の把握 2. キャリア支援講座の企画・運営。そのための指導者依頼等	

【評価】

令和2年度の小学校教員採用試験合格者については、42名(既卒者9名含む)となり現役合格率としては

80.5%となった。また、公立小学校教諭の就職については、現役生で32名、既卒者9名となり、学部起ち上げから総計202名の教諭を送り出したことになる。

免許取得に関しては、小学校教諭一種免許状取得者69名、幼稚園教諭一種免許状取得者85名と、概ね取得希望者の希望に添った結果を得ることができた。

【課題】

令和2年度教職課程委員会の活動は、コロナ禍の影響もあって委員全員が集まって協議をする機会が全く取れなかった。そのためSNSや学内電話等を活用し、免許取得希望者の把握や、採用試験に向けてのキャリア支援の状況及び問題点を把握する活動に限られた。今後は遠隔会議等の利用も含めて、2か月に1度の定例会議を図るようにしたい。さらに教職履修カルテの電子化の実現に向け小委員会を開催したい。

当面の課題としては、2023年度には、現在の保育士養成課程における科目を教職課程にかかる科開催するように目として位置づけることになる。そのため、それまでには、教科を担当する教員の実績が、確かなものである必要があり、周知の徹底を図らなければならない。

その他小免許取得者は、今年度は69名を数えた。しかし、進路は別にあるがとりあえず免許を取得しておこうという安易な考えの学生も相変わらずいる。小学校教員としての有資格者として、資質、力量が不足する学生が増加することに避けなければならない。

そのため、教員免許取得希望には一定の制限を設けることも視野に入れる必要があると思われる。また、教職課程に進んだ学生の学びのため模擬授業や実習のあり方を、幼稚園・保育教諭養成も含めた課題として、新たな実習協力校・認定こども園の開拓や継続的に教育実習の経験を蓄積できる体制づくりが必要である。

本学が富山県教育に一定の人員を占めるに至った現在、教員養成から採用後の数年間、どのようにして教師力を向上させていくか、今後は大学の支援が一層求められると思われる。

2. 図書館委員会

【実施計画】

図書館委員会規程に基づき、次のアクションプランに繋がる内容を審議する。

1. コロナ禍の影響で、本自体の貸し出し等が難しくなっていることを踏まえ、今後の図書館の在り方、例えば電子図書館の構築に向けて、教員や学生などの意見を聞きながら、利用者にとって使いやすい新しい図書館像を探る。
2. 図書館の活用促進を兼ねて学生と教員によるサークルの運営の継続

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議・報告事項
令和2年5月8日（金） 12:30～13:00 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名 欠席：0名	第1回図書館委員会（全学委員） 1. 2019年度図書館の自己点検報告書について 2. 2020年度図書館のアクションプランについて 3. 2019年度紀要発行状況について 4. 図書館運営の現状について 5. その他
令和2年6月2日（火） 16:30～17:05 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名 欠席：0名	第2回図書館委員会（全学委員） 1. 6月からの図書館の開館時間ならびに注意事項の確認について 2. 2020年度大学紀要No.1の発行スケジュールについて 3. 富山県立図書館との相互貸借協定の締結について 4. 自己点検報告書、図書館業務編について 5. その他
令和2年6月30日（火） 16:30～17:00 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名 欠席：1名	第3回図書館委員会（全学委員） 1. 図書館の活性化について 2. 公立大学法人 国際教養大学中嶋記念図書館について 3. その他

令和2年8月4日(火) 16:30～17:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:7名 欠席:0名	第4回図書館委員会(全学委員) 1. 2020年度紀要第1号投稿意向調査の提出状況について 2. 大学30周年記念誌(図書館部分)について 3. その他
令和2年9月4日(火) 10:00～10:25 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:7名 欠席:0名	第5回図書館委員会(全学委員) 1. 紀要論文のHP公開の許諾について 2. Tuins Book Cafeについて 3. その他
令和2年10月5日(月) 15:00～15:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:9名 欠席:2名	第6回図書館委員会(全学委員、学部紀要委員) 1. 2020年度富山国際大学紀要第1号原稿の提出状況について 2. 私立大学図書館協会西地区秋季京都地区協議会について 3. その他
令和2年10月27日(火) ～10月29日(木) 12:00迄	メール審議 1. 2021年度 図書館購読外国雑誌について
令和2年11月2日(火) 15:00～15:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:6名 欠席:1名	第7回図書館委員会(全学委員) 1. 2021年度外国雑誌の契約について 2. 次年度予算について 3. その他
令和2年12月1日(火) 16:30～17:15 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:6名 欠席:2名	第8回図書館委員会(全学委員) 1. 令和3年度図書館予算について 2. 富山国際大学2020年度紀要第2号について 3. その他
令和3年1月5日(火) 16:30～17:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:7名 欠席:0名	第9回図書館委員会(全学委員) 1. 富山国際大学2020年度紀要第2号投稿意向調査結果について 2. 今年度の選定図書について 3. その他
令和3年2月2日(火) 16:30～17:05 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:7名 欠席:0名	第10回図書館委員会(全学委員) 1. 外部データベース等の学外アクセスについて 2. 今年度のアクションプランについて 3. 研究室貸出図書(主に個人研究図書費購入図書)の確認について 4. その他
令和3年3月2日(火) 13:30～13:50 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:10名 欠席:1名	第11回図書館委員会(全学委員、学部紀要委員) 1. 2020年度富山国際大学紀要第2号提出原稿について 2. 2021年度予算について 3. その他

【評価】

本年度も紀要の作成にあたっては、図書館委員会と併せて紀要編集委員会を実施し、募集から試読、リバイス、編集、発行までの一連の作業を実施した。本年度は10月発行の第1号は、現代社会学部で論文2編、子ども育成学部で論文2編、研究ノート1編、また3月発行の第2号は、現代社会学部で論文2編、研究ノート2編、子ども育成学部で論文2編、研究ノート1編が掲載された。

2020年度に掲げたアクションプランの1項目目については、コロナ禍の影響で、本自体の貸出等が難しくなっていることを踏まえ、今後の図書館の在り方等を具体的に検討する時間を確保することは難しかったが、電子書籍資料を充実すべく収集に努めたこと、2項目目については、図書館の活用促進を兼ねて学生と教員によるサークルの運営として「TUINS Book Café」を年間8回オンライン併用にて開催したことにより、概ね達成できたと評価できる。

次年度で保守期限を迎える図書館システム導入予算については、学園全体での予算組みとするため情報教育研究センターで計上することとなった。

【課題】

今後の図書館の在り方として、これまでの実績を踏まえ、次年度に向けて次の課題の解決に向けて委員会を

運営する。

- ・ より一層の図書館の有効利用推進（定量的な数値把握）
- ・ 学生に対する推薦図書予算配分の有効的な見直し
- ・ 電子書籍の有効利用推進
- ・ メディアセンターとしての図書館の構築
- ・ 図書館活用促進を行う学生サークルの運営サポート
- ・ 定期購読雑誌の有効的な新陳代謝

3. 情報センター運営委員会

【実施計画】

情報センター規程に基づき、予算策定期間に、情報センター運営委員会を実施し、センター運営について協議する。

【実施内容】

- ・ 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
令和2年7月24日(木) 16:30～18:00 Zoom 会議 出席：7名 欠席：2名	1. 貸出ノートPCへの教育用ソフトウェアのインストール 2. 両キャンパス Wi-Fi アクセスポイント WPA2 へのセキュリティ強化 3. L3 スイッチ更新事業 4. ファイアウォール更新事業 5. Wi-Fi アクセスポイント増設事業 6. ファイル・内外部・AD 認証サーバ更新事業 7. 短大C館ネットワーク機器交換について
令和2年8月3日(月) 12:00～13:00 Zoom 会議 出席：9名 欠席：なし	1. ファイアウォール更新事業に関する経過報告 2. Wi-Fi アクセスポイント増設事業に関する経過報告 3. ファイル・内外部・AD 認証サーバ更新事業 4. 短大C館ネットワーク機器交換に関する経過報告 5. E館ネットワークサービス障害について 6. 部署・団体メールアカウントのOffice365 アカウントへの移行 7. G Suite for Education 契約への着手 8. ファイルサーバーのディレクトリー構成に関する検討
令和3年1月26日(水) 13:00～14:30 Zoom 会議 出席：8名 欠席：1名	1. ファイルサーバー更新に伴うディレクトリー構成の効率化に関する検討 2. 令和3年度大学幹旋ノートPCに関する報告
令和3年2月26日(金) 16:30～17:40 Zoom 会議 出席：7名 欠席：2名	1. ファイルサーバー更新に伴うディレクトリー構成（tuins-share）の効率化に関する検討 2. 令和3年度入学生へのネットワークサービス利用に関する教育と指導 3. 各種システム利用におけるパスワード教育と指導 4. 新年度オンライン講義に向けた体制 5. 新年度に向けた情報センター業務とセンター長交代について 6. 新年度情報センター予算に関する報告

【評価】

サーバシステム、ネットワーク環境、プリンタ等の環境変化について討議し、従来の運用内容については情報センター担当業務を着実に果たし、問題なく運用されている事が確認された。

呉羽キャンパスにおいて、情報センターからの出張サービスを継続実施し、学生・教職員へのサポート体制が強化された。呉羽キャンパスにおけるネットワーク接続に関する問題点について、短大との連携の必要性に伴い、情報教育研究センターでの検討が進められている。

子ども育成学部の「情報処理演習」授業担当教員が非常勤講師となったことに対する、学生へのサポート低下に対しても、呉羽事務室と連携し、予約による出張サポート、急を要する場合は、電話やメールによるサポート

を実施している。

【課題】

学内でのノートPCのみならず、スマートフォンやタブレット等モバイル機器の増加する中、Wifi 環境を一層充実していく必要がある。

4. キャリア支援センター運営会議

【実施計画】

キャリア支援センターに関する諸問題について検討することを目的とし、原則として毎月1回開催する。

ただし、令和2年度はコロナ禍のため、必要に応じてZoomを利用したオンラインによるリモート会議を4回開催した。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
令和2年6月20日(土) 14:10～14:30 Zoomによるリモート開催 出席：11名 欠席：0名	議事 ・審議事項 ① 2020年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会について ② その他
令和2年9月17日(火) 13:00～14:50 Zoomによるリモート開催 出席：10名 欠席：1名	議事 (1) 審議事項 ① 2020年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会について ② 2022年3月卒業生対象 学内合同企業説明会の日程について ③ その他 (2) 報告事項 ① 2020年度就職内定状況について ② 後期以降の関連イベントについて ③ 大学ホームページWebサイトの更新担当者について ④ その他 ・現代社会学部キャリア支援委員会について ・子ども育成学部キャリア支援委員会について
令和2年12月15日(火) 12:25～12:50 Zoomによるリモート開催 出席：8名 欠席：3名	議事 (1) 審議事項 ① 2020年度 学内企業研究会の開催について ② 証明書の発行について ③ その他 (2) 報告事項 ① 企業・事業所・大学講演会のアンケート結果 ② 2020年度就職内定状況について ③ 後期以降の関連イベントについて ④ その他
令和3年1月28日(木) 12:20～13:00 Zoomによるリモート開催 出席：11名 欠席：0名	議事 (1) 審議事項 ① 2020年度 学内企業研究会の開催について ② 証明書の発行について ③ その他 (2) 報告事項 ① 2020年度就職内定状況について ② 2022年3月卒業生（現3年生）対象就活イベントについて

【評価】

コロナ禍のため、Zoomを利用したリモート開催で、回数も少なかったが順調に審議が行なわれ、円滑にセンター運営ができた。また、昨年度より会議時間の短縮化を図り、会議時間も短くスムーズに審議・報告がなされた。

【課題】

キャリア支援センター運営会議の開催日程が、各委員の授業日程の関係で調整が困難であり、昨年度同様に昼休みの時間を利用した結果、会議時間が短く進行が大変スムーズであった。ただし、時間を要する審議事項が生じた場合、日程調整は時間割に左右されることとなる。

5-1. 国際交流センター運営会議

【目標】

本学の国際交流に関する事項について、教職員による協議を行う。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
2020年4月2日(木) 17:00～17:30 402室 出席：6名 欠席：4名	審議事項 1. 海外からの留学生の取り扱いについて（学部編入留学生・交換留学生・本学から派遣する長期留学） 2. その他 報告事項 海外に長期留学生していた学生の帰国について
2020年4月22日(水) メール審議 送信先：10名	審議事項 朝日国際教育財団特別奨学生推薦について
2020年4月30日(木) 16:30～17:00 ZOOM会議 出席：7名 欠席：3名	審議事項 1. 朝日国際教育財団特別奨学生の推薦について 2. 文部科学省外国人留学生学習奨励費の推薦について 3. ロシア人留学生の秋入学可否について 報告事項 留学生の状況について
2020年5月28日(木) 16:30～18:10 ZOOM会議 出席：10名 欠席：0名	審議事項 1. TOEIC IPテスト実施について 2. イングリッシュ・キャンプ開催について 3. チューター制度について 4. 2020年度朝日国際教育財団一般奨学生推薦について 5. 留学生情報の共有について
2020年6月8日(木) 2020年7月6日(月) メール審議 送信先：10名	審議事項 1. 朝日国際教育財団一般奨学生の推薦について 報告事項 1. EMBAからの交換留学生の帰国について 2. 中国からの交換留学生の帰国について 3. 大学コンソーシアム富山事業・グローバルチャレンジ講座について
2020年7月22日(水) 12:20～12:55 ZOOM会議 出席：8名 欠席：2名	報告事項 英語国際キャリア専攻の海外留学中止について
2020年8月5日(水) 14:40～15:20 ZOOM会議 出席：10名 欠席：0名 オブザーバー：才田教授	審議事項 1. 「オンライン留学」について 2. 外国人留学生受け入れについて 報告事項 編入学の取り消しについて

2020年9月29日(火) 18:59 メール審議 送信先:10名	審議事項 JASSO 学習奨励費特別追加採用受給者、および平和中島財団留学生奨学生の推薦について
2020年11月4日(水) 16:30～18:30 4号館 402室 出席:9名 欠席:1名	審議事項 1. 30周年記念事業について 2. 2021年度留学生受け入れについて 3. TOEIC IPテスト実施について 4. 外国人留学生のアルバイト状況指導・管理について 報告事項 TUINS English Camp 2020について
2020年12月17日(水) 16:30～17:50 4号館 402室 出席:9名 欠席:1名	審議事項 1. TUINS English Camp 2020について 2. チェルネットに関する事項について 報告事項 1. 海外からの入学希望調査について 2. 「レスブリッジ大学のConversation Caféへの参加」について 3. その他
2021年3月9日(水) 14:00～15:40 ZOOM会議 出席:9名 欠席:2名	審議事項 1. TOEIC IPテスト実施について 2. 2021年度の長期・短期海外留学・海外研修 3. 留学生の受け入れ 4. 留学生異文化研修(金沢・兼六園)を4月25日(日)に実施する

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面からZOOM会議およびメールにて審議することが多かったが、円滑に運営ができた。

【今後の課題】

- ・外国人留学生(正規生)の減少
- ・チェルネットの効果的利用方法の検討と学生への勧め
- ・留学成果の検証と留学前後の教育改善の検討
- ・海外研修の評価

5-2. 国際化推進委員会会議

【実施計画】

富山国際大学の国際化を推進することを目的とし、富山国際大学国際化推進委員会を原則2か月に一度開催する。

【実施内容】

・会議内容

開催日時・場所・出欠	議題事項
2020年5月29日(金) 9:00～10:00 ZOOM会議 出席:12名 欠席:2名	審議事項 1. 今年度留学と海外実習の考え方について 2. その他 報告事項 1. 国際交流センター運営会議議事録 (第3回5月28日 ZOOMによる) 2. TOEIC IPテストの延期 3. イングリッシュ・キャンプの延期 4. チューター制度について 5. 朝日国際教育財団一般奨学金推薦者

2020 年 7 月 22 日 (水) 16:00～17:15 ZOOM 会議 出席：13 名 欠席：1 名	報告事項 1. 朝日国際教育財団一般奨学生の推薦について 2. EMBA からの交換留学生の帰国について 3. 中国からの交換留学生の帰国について 4. 大学コンソーシアム富山事業・グローバルチャレンジ講座 5. 英語国際キャリア専攻の海外留学中止について
2020 年 9 月 23 日 (水) 15:00～16:30 ZOOM 会議 出席：13 名 欠席：1 名	報告事項 1. 大学コンソーシアム富山 グローバルチャレンジ入門講座 2. 国際交流センター運営会議議事録 (第5回 7月22日(水) ZOOM会議による) ・英語国際キャリア専攻の海外留学中止について (第6回 8月5日(水) ZOOM会議による) ・「オンライン留学」について ・外国人留学生受け入れについて ・編入学の取り消しについて
2020 年 11 月 25 日 (水) 17:00～18:00 ZOOM 会議 出席：14 名 欠席：0 名	報告事項 1. 国際交流センター運営会議議事録 (第7回 9月29日(火) 18:59 メール審議) ・JASSO 学習奨励費特別追加採用受給者、および平和中島財団留学生奨学生の推薦について (第8回 11月4日(水) 16:30～) ・30 周年記念事業について ・2021年度留学生受け入れについて ・TOEIC IP テスト実施について ・外国人留学生のアルバイト状況指導・管理について 2. TUINS English Camp 2020
2021 年 3 月 24 日 (水) 16:00～17:15 ZOOM 会議 出席：14 名 欠席 0 名	審議事項 1. オンライン版 TOEIC IP テスト実施について 報告事項 国際交流センター運営会議議事録 (第9回 2020年12月17日(水) 16:30～17:50 4号館402室) ・TUINS English Camp 2020 の実施報告。Camp の今後について意見交換 ・チエルネットが2021年度末で契約終了のため、他のクラウド型教材の採用を検討する。 ・海外からの留学生受け入れの入学について情報交換。 ・レスブリッジ大学 Conversation Café への学生の参加について報告 ・留学生へのメールの文面について配慮する必要 (第10回 3月9日(水) 14:00～15:40) ・オンライン版 TOEIC IP テスト実施を検討 → メール審議で導入方針決定 ・2021年度留学生派遣については、外務省の国・地域別海外安全情報で危険度2以上の地域への渡航は原則として見合わせとの方針を確認。9月以降の派遣については、今後の状況を見て検討。 ・海外からの留学生受け入れの準備を開始。日本政府による新規入国ビザ発給停止措置の状況を確認 → 3/18 に同措置が延長(期限無し) ・留学生異文化研修を4月25日に実施(金沢・兼六園など予定)

【評価】

定例会議は2カ月に1回開催され、状況報告と今後の方針等についての審議が行われた。決められた事柄につ

いて、国際交流センターが実施を行った。国際交流に関する事項が全学的な意思統一の下で実施された。この組織的な取り組みが重要な位置を占めている。

【課題】

新型コロナウイルス対策感染症の影響により、2020年度のイベントの殆どが中止となった。また、日本人学生の海外留学も実施出来なかった。コロナ禍の中、海外留学は出来なかったが、代替えとして本学で初めての試みとしてオンライン留学を実現させた。新型コロナウイルス感染症が収束した時点で、積極的に海外留学を推進させたい。引き続き、海外留学や国際交流に興味のある学生確保に結び付ける必要がある。

Ⅲ. 業務運営状況（評価・課題）

1. 教務課業務

・教育課程並びに履修に関すること

【実施計画・内容】

教学部門の根幹業務に関わる、学則・カリキュラム整備、学生便覧・講義要綱の作成、履修登録と出欠管理について、学生サービスへのサービス低下につながらないよう、学生に常にわかりやすくバックアップできるよう改善しながら業務遂行していく。

また、令和2年度も両学部のカリキュラム実施のフォロー、副専攻プログラムの運用に伴うアフターフォロー、及び退学勧告等の具体的な運用を行う。

【評価・課題】

令和2年度は、現代社会学部にあつては昨年度改定された「情報教育」に力点をおくカリキュラムを運用しはじめ、改定された子ども育成学部にあつては教職課程再課程認定に伴うカリキュラムが進行しはじめ、それぞれの学部の特性を念頭にフォローを行ってきた。

副専攻プログラムについては、修了予定対象者がグローバル人材育成プログラムでは1名、地域創生人材育成プログラムでは3名であった。

本年度は、新型コロナウイルス感染予防対策の観点からの履修に関して対応に追われたが、特に遠隔授業となった際は、教員・学生のためのフォローにかなりの時間を費やして、教授・学修環境の不満につながらないよう努めた。

・研究生・科目等履修生・聴講生等に関すること

【実施計画・内容】

研究生・科目等履修生・市民聴講生等の募集案内や受入れ後の事務処理について、適格に処理できるよう遂行する。

【評価・課題】

研究生・科目等履修生・市民聴講生等の募集案内については、一部遅延があったが大きな混乱はなく処理できた。受け入れ等実績は次のとおりであった。

令和2年度在籍者数 研究生：0名 科目等履修生：2名 市民聴講生：0名

大学コンソーシアム富山単位互換制度における受講について、本学が開講した共同授業科目である「環境社会学」及び「とやま地域学」以外の科目で、他大学学生が受講した科目はなかった。

なお、本学学生が他大学の科目を受けたのは次のとおりであった。

機関名	科目名	現代社会学部	子ども育成学部	計
富山大学	英米言語文化講読Ⅱ	0	1	1

今後はより積極的に本学、他大学学生、社会に向けて案内に工夫していく。

・教務業務に関すること

【実施計画・内容】

① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

富山県大学連携協議会を発展解消され、平成25年度より大学コンソーシアム富山が創設された。その下部組織である教育連携部会において、教務課として「単位互換」にかかる事業を展開する。

② 公益財団法人富山県ひとづくり財団助成金について

毎年、富山県外郭団体の標題財団が、県内の高等教育機関の教育研究活性化推進をすべく、一定の事業に助成支援をしており、その申請・実績報告業務を実施していく。

③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

毎年、富山第一銀行奨学財団より本学の研究に一部助成し、地域貢献を図っていることから、その申請・実績報告業務を実施していく。

④ 副専攻プログラムの運営について

平成29年度より在籍生から適用・運用していく副専攻プログラム（グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム）を軌道に乗せる。

【評価・課題】

令和2年度は次のような評価と課題であった。

① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

実施計画に基づき、8月31日から9月4日まで開講した大学コンソーシアム富山共同授業科目「とやま地域学」に138名が受講した（本学学生は21名）。富山在住の研究者・専門家を招聘し、今年度の特色としてデジタル社会とは何か。また、コロナ禍における最新の新型コロナに関する情報を提供した。富山の魅力と課題を理解し、アフターコロナ時代においても一人ひとりが輝く富山の地域づくりに参画できる人材の基礎力の育成を目指した4日間を計画どおり実施できた。

また、本年度、9月7日から9日まで開講した「環境社会学」には、63名（本学学生は49名）が受講した。富山県出身で、日本経済新聞グループで長年記者を務めてきた講師による講義であり、気候変動や生物多様性、SDGsなどの地球環境問題やサステナビリティの問題が、社会や企業にどのような影響を及ぼしているかについて、世界・国・地域の観点から学び、学生は社会の中で環境問題の解決や持続可能な暮らしについて理解を深めた。

また、他の単位互換科目では、富山大学が開講した「英米言語文化講読Ⅱ」に1名の受講実績があった。

② 公益財団法人富山県ひとづくり財団助成金について

令和2年度は次のような実績となった。

公益財団法人富山県ひとづくり財団高等教育振興事業一覧

<令和2(2020)年度>

助成事業種別	学部・部署	研究課題名	助成額
2号 (シンポジウム等の開催に対する助成)	現代社会学部	富山国際大学開学30周年記念シンポジウム 「デジタルトランスフォーメーション(DX)時代における人材育成」	240,000
2号 (シンポジウム等の開催に対する助成)	国際交流センター	富山国際大学開学30周年記念講演会 「富山から世界へー万葉集の魅力 世界に発信ー」	240,000
2号 (シンポジウム等の開催に対する助成)	子ども育成学部	富山国際大学開学30周年記念 第12回子ども育成フォーラム	71,000
3号 (地域課題の解決に取り組む研究)	現代社会学部	子ども食堂を核とした地域ネットワーク確立における支援の在り方の分析	274,000
5号 ア (学生確保推進支援事業)	入試広報課	富山国際大学学生募集確保事業	840,000
	キャリア支援センター	就職推進事業	623,000
計			2,288,000

③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

公募型申請により、令和2年度は次のような実績となった。

公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金 実績一覧

<令和2(2020)年度>

令和2(2020)年度					
資金種別	学部	職名	氏名 (研究代表者)	研究課題名	実績額
高等教育機関の研究活動の助成	現代社会学部	准教授	高尾 哲康	スマホ映像から集団活動時のリアルタイム人物追跡	350,000
		講師	一井 崇	ユニバーサルツーリズムの先進事例に関する調査研究及び同ツーリズムの促進に向けたシンポジウムの開催	500,000
	子ども育成学部	准教授	松山 友之	小学校プログラミング教育導入に向けたシンプルな学習プログラミングの開発と実践－教職課程への応用を目指して－	600,000
		准教授	大平 泰子	子どもの発達をふまえた幼児期からの市民教育に向けての予備的研究	350,000
		講師	奥田 秀巳	表現活動を通じた哲学対話の実践と学習プログラムの開発	500,000
		計			

④ 副専攻プログラムの運営について

令和2年度は2つの副専攻プログラム（グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム）で、グローバル人材育成プログラム1名、地域創生人材育成プログラム4名修了者を認定し、学位記授与式で修了証を手渡した。

なお、本年度の新たな申請者数は新型コロナウイルスの影響もあり、0名であった。
次年度は申請数を増やすことができるよう魅力を伝えていく必要がある。

2. 図書館業務

【概要】

図書館利用については、推薦図書の周知方法の工夫として図書館利用について教員との連携や、オリエンテーションなどでの告知、館内のディスプレイや掲示を工夫し、昨年に引き続き図書館の利用促進を図った。本年度は、予測もできないコロナ禍により、東黒牧図書館における図書貸し出し数は31年度の1,491冊／年から847冊／年に減少し、貸出者総数は31年度の838名に対して503名と減少、入館者数も31年度の13,216名から大幅な5,523名と一気に減少した。

・図書館予算に関すること

【実施計画・内容】

令和3年度予算案策定に向けては、図書館システムの更新時期を迎えており、情報化が急務となっていることから、大学・短大での連携において学園全体としてのシステム更新として学園での計上を目指し、更なるシステム活用を検討する。

また、相互図書館書架の閲覧頻度の低い書籍の取り扱いについても、将来を見据え検討する。

【評価・課題】

大学・短大との図書館システム更新については、学園全体としてのシステムと捉え、学園情報教育研究センターにおいて費用等を計上するとなった。

今後、図書館事務室に段ボール箱に保有されている退職教員の書籍などについては、電子化されているものもあることから、除籍廃棄も念頭に図書の整理を検討する。

3. 学生課業務

・奨学金に関すること

富山国際大学奨学金、独立行政法人日本学生支援機構奨学金、富山第一銀行奨学財団奨学金、各県市町村関係の奨学金等の取り扱いをし、各奨学金の申請、継続、返還、異動などの手続きや学習成績の報告を行う。

【実施計画】

経済的に困難な状況にある学生の修学を支援するため、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・財団等の奨学金および本学独自の各種奨学金制度がある。また、本学独自の奨学金としては、経済的理由により学費等の納付が困難である者、成績優秀者、諸活動で成果を収めた者、海外留学者(半期)、外国人留学生を対象にした制度がある。奨励金制度は、学業成績または諸活動において前年度に著しく優秀な成果を収め、他の在学生の模範であると認められた2年次以上の学生に給付する制度である。

【実施内容】

富山国際大学奨学金

奨学種類		給付額	2020 予定人数	2020 実績人数
(第1種) 在校生	経済的理由	1,030,000	1	
		515,000	1	
		340,000		1
		275,000		1
	小計		2	2
(第2種) 受験生	特別奨学生 選抜試験	600,000	4	
		300,000	4	2
	小計		8	2
(第2種) 在校生	特別選抜 試験特待生	680,000	2	2
		550,000	3	3
		365,000	7	6
		340,000	1	1
		300,000	3	3

		275,000	11	11
		小計	27	26
(第2種) 受験生	諸活動 特待生	200,000 (入学金のみ)	10	10
		600,000	1	1
		300,000	3	3
		200,000	2	2
		小計	16	16
(第2種) 在校生	諸活動特待生	680,000	1	1
		550,000	1	3
		365,000	1	1
		340,000	7	7
		300,000	6	6
		275,000	9	9
		200,000	9	4
		小計	34	31
(奨励金)	成績優秀者	100,000	4	4
	諸活動優秀者	100,000	2	2
		小計	6	6
		合計		
※後援会特別奨学金（新型コロナウイルス対策給付金） 給付実績 21 名（現代社会学部 8 名 子ども育成学部 13 名） 給付金額 1,948,000 円（現代社会学部 755,000 円 子ども育成学部 1,193,000 円）				

日本学生支援機構等奨学金等

奨学財団名等		人 数	備 考
日本学生支援機構		365	第1種 165 人 第2種 151 人 給付 49 人
富山第一銀行		2	
富山県		1	
石川県		1	
各市町村		2	(富山市 1 人、滑川市 1 人)
交通遺児育英会		0	
あしなが育英会		0	
留学生	富山県	3	
	日本学生支援機構	3	
	朝日国際	5	

【評価と今後の課題】

近年、日本学生支援機構の奨学金を申請する学生が年々増加傾向にある。

特に、令和2年度からスタートした授業料減免と給付奨学金がセットとなった修学支援制度の申込が急増した。大学独自の奨学金では、限られた予算の中で、一人でも多くの学生への支援したく給付金額を考えながら個別面談し引き続き対応している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アルバイト収入が減少し、経済的に困窮し学業に支障が出ている本学学生を対象に後援会からの支援を受け後援会独自の給付奨学金を創設した。

情報提供については、オリエンテーション時に学生へ、各種奨学金制度について説明を行い、さらに、ホームページやメール等で都度、案内しているが、引き続き相談しやすい体制作りを構築していく。

・夢への架け橋助成事業に関すること

夢への架け橋助成事業の募集告知、申請事業のヒアリング、学内審査会、助成金の交付、事業終了後の報告書管理を行う。

【実施計画】

募集期間：2020年6月8日(月)～6月30日(火)【必着】

1 目的

この助成事業は、本学の学生の活力を生かすとともに、地域との連携を更に深め地域に貢献することにより、本学の活性化に資することを目的に、本学の学生から研究・活動等の事業計画を募集し、その事業の実施に対し本学が助成・支援を行う。

2 助成対象事業

本学に在学する個人又はグループで積極的に研究・活動等を行うものとし、以下に掲げる事業とします。

- (1) 地域問題、国際問題に関する調査・研究事業
- (2) ベンチャー企業の創設に関する調査・研究事業
- (3) NPO活動事業
- (4) イベント計画・実施事業
- (5) ボランティア活動の計画・実施事業
- (6) 地域活性化の調査・研究又は事業の実施
- (7) 国際的文化交流に関する活動
- (8) 各種創作活動
- (9) その他本学の活性化に繋がると認められたもの

【実施内容】

2020年度 夢への架け橋助成事業申請

NO	事業
1	体力回復プログラム
2	大学オリジナル・日本酒プロジェクト
3	TUINS サッカー教室 2020 及び TUINS サッカー大会
4	小学校体育授業サポート
5	科学実験教室・自然体験ボランティア活動
6	こころプロジェクト(コロナに負けるな！こども食堂ローカルプロジェクト)
7	限界集落支援事業
8	高濃度 CO2 利用による付加価値の高い農作物栽培への挑戦

【評価と今後の課題】

従来はヒアリング審査会を対面で実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、初めての試みとしてオンラインにて実施した。また、限られた予算の中で、これまで申請のあった全事業に対し、助成金額の配分を行ってきたが、今年度より申請金額をカテゴリー（A30 万円コース B20 万円コース C10 万円コース）に分け、コンペ形式を採用するなど、実施要領の見直しを図った。

今年度は全事業の総額が予算内に収まり大きな混乱は無かったが、予算額を超える申請があった場合、厳正な審査が求められる。

・広報関係に関すること

◆学長賞等表彰について

【実施計画】

この一年間、本学の学生として著しく表彰に値する業績のあった者あるいは、文化、スポーツ、諸活動を通じ、特に優れた業績を修めた団体又は個人に対し、富山国際大学学則第 38 条及び同学生表彰要項に基づき表彰したいので、別紙様式により候補者の推薦をされるよう、関係者をお願いし実施する。

【実施内容】

下記の学生表彰候補者が提出され、2021 年 2 月の学務委員会ならびに両学部の教授会、運営会議で審議し承認された。学生表彰候補一覧は次表のとおり。

学生表彰候補者一覧表

No	表彰規程	推薦賞名	個人・団体	所属
1	第2条2(1)イ	学長賞	団体	ボート部(男子ダブルスカルチーム)
2	第2条2(1)イ	学長賞	団体	ボート部(男子舵手なしクオドルプルチーム)
3	第2条2(1)イ	学長賞	個人	ボート部

4	第2条2(1)イ	学長賞	個人	アーティスティックスイミング
5	第2条3(1)ア	学長功労賞	個人	現代社会学部 学友会
6	第2条3(1)ウ	学長功労賞	個人	子ども育成学部 学友会

※富山国際大学学生表彰規程細則に基づき学生表彰候補者が選出された。

【評価と今後の課題】

推薦書は6個人・団体から提出され表彰することとなった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、学位記授与式自体が縮小され、名前と業績の紹介のみとなった。学位記授与式の終了後、各学部の会場で学長賞・学長功労賞の表彰を改めて行った。

4. キャリア支援センター

・キャリア教育に関すること

【実施計画】

- ・現代社会学部におけるキャリア・デザイン講座a・b(1年次必修科目)、地域企業講座(2年次選択科目)、キャリア支援講座a・b(3年次必修科目)の授業運営に関わる業務。
- ・尚、子ども育成学部では、キャリア入門講座(1年次)、キャリア支援講座Ⅰ(2年次)、キャリア支援講座Ⅱ(3年次)キャリア支援講座Ⅲ(4年次)、実習、インターンシップ等を独自に実施している。

【評価と今後の課題】

- ・キャリア・デザイン講座aは、令和2年度より見直しを図り、1年次前期は就職に特化せず入学した学生に大学4年間をどのように過ごし、自身のキャリアを形成させるかを考える授業内容とした。後期bは、担当教員が例年前期に実施している内容で、社会に目を向けるための新聞の記事を題材にした「読み」「書き」を中心にした授業を展開した。また、この授業は毎年工夫(2年前から少人数・2クラスに分けて実施)をして講座を組み立てている。
- ・地域企業講座は、令和2年度からスタートし、地元企業から講師を招聘し学生の企業研究に役立てたが、今後どのように企業を選択するかが課題。
- ・キャリア支援講座・子ども育成学部キャリア支援については、就職活動に向けて学生を支援する授業だが、コロナ禍により令和2年度は例年より手厚くできなかった。

・キャリア支援センター行事に関すること

「企業・事業所・大学講演会」

「令和2年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会」次第

開会の辞

日 時 : 令和2年11月20日(金) 15:30 ~ 17:10

場 所 : 富山国際大学 本部棟大会議室 オンライン配信

(住所: 富山市東黒牧6-5-1 TEL: 076-483-8000)

受 付 : 14:40から

開会挨拶: 15:30 高木 利久 学長

大学紹介: 15:35 高橋 哲郎 キャリア支援センター長

休 憩 : 15:55

講 演 : 「コロナ禍で何も変わらなかった理由

～7年前から取り組んだ“つながりを育む”リモートワークの神髄と組織の作り方～

講 師 : 株式会社ソニックガーデン 代表取締役副社長 藤原 士朗 氏

開会挨拶: 17:00 高橋 哲郎 キャリア支援センター長

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
参加企業数	42	108	116	80
講演会参加人数	80	145	145	90
情報交換会参加人数	実施なし	130	132	73

【評価と今後の課題】

令和2年度はコロナ禍により、初の試みとしてオンラインを利用したリモート講演会を開催し、例年実施して

いる情報交換会は開催実施できなかった。結果的に、ここ2年間増えていた参加人数が大幅に減った。

次年度も新型コロナウイルス感染拡大が収束しなければ、開催方法をオンラインに変更せざるを得ず、参加者が減る可能性がある。早めの広報活動が必要となる。

「学内企業研究会」

1. 目的：学生が「業界」や「業種」について研究し、企業の採用計画・採用試験日程などを採用担当から直接情報収集することで、以降の就職活動を円滑に行えるようにすることを目的とする。
2. 日時：令和3年2月12日（金）・16日（火）[2日間] 13:20～16:00（企業受付開始 12:30～）
3. 会場：富山国際大学 東黒牧キャンパス 厚生棟
4. 方式：ブース形式による説明（1回あたり20分間の説明を6ローテーション実施）
5. 対象者：令和4年3月卒業、4月就職希望者約110名（子ども育成学部一部含む）
6. 内容：
 - ① 開会挨拶（高木学長）
 - ② 各ブースにて事業内容や採用計画についての説明を受ける（20分×6回）
 - ③ 企業と教職員との情報交換（随時）
 - ④ アンケート記入
 - ⑤ 閉会挨拶（高橋キャリア支援センター長）
7. 学生への事前説明会
日時：令和3年2月3日（水）13:00
場所：大講義棟 I
内容：キャリア支援講座後期試験終了後、企業研究、事前教育・諸注意等を伝達

【実施内容】

- ・令和3年2月12日（金）（参加者企業 43社、参加学生 68人参加）
※ 1人5社企業訪問をすることを指導
- ・令和3年2月16日（火）（参加者企業 43社、参加学生 70人参加）
※ 1人5社企業訪問をすることを指導

【評価と今後の課題】

令和2年度はコロナ禍により、北陸三県の大学で唯一本学のみが早くから学内就活イベントを対面で実施すると学外に周知した（金沢大学は対面とWEBを併用、高岡法科大学は3月に対面式で開催）。昨年度も新型コロナウイルス感染が拡大する前に実施したため、本学の学生は2年連続でコロナ禍による被害が少なく済んだ。ただし、三密を防ぐために大幅に企業数を減らし、各ブースの座席数も3～5席に減らした。また、回転数を6回から5回に減らした。そのため、移動がスムーズになり、訪れる学生が少ない企業のブースはほとんどなかった。今後のコロナの感染状況にもよるが、オンライン対応も検討する必要がある。

・インターンシップに関すること

【実施内容】

- ① 令和2年度は、コロナ禍により例年より学生への周知やフォローは遅くなった。しかし、その中でも参加を希望する学生がいたため、富山県インターンシップ推進センターが運営するWEBサイト「INTERNSHIP NAVI とやま」に学生が希望する企業に申込登録させ、承認を得た企業から順次事務手続きを行う流れとなっている。実際にインターンシップには22名が参加し、専攻別では観光専攻5名、環境デザイン専攻1名、経営情報専攻14名、英語国際キャリア専攻2名であった。海外インターンシップについては、春休みから参加していた子ども育成学部の学生が1名おり、新型コロナウイルス感染拡大前に帰国できた。
- ② 受入先と参加学生とのマッチングは、学生の希望に基づいて行ったが、希望に沿えなかった学生は、話し合い等により研修先を決定した。その結果、最終的には学生の希望に応えられる業種・職種の受入先を確保することができた。
- ③ 受入先には、受入条件確認書記載や研修時の日誌へのコメント、そして研修の評価を依頼した。昼食費・通勤費等については、学生の自己負担としている。研修期間中の事故に対応するため、学生負担による「学研災付帯賠償責任保険」への加入させている。
- ④ 受け入れに関する契約は、大学と企業間で『覚書』を締結し、学生は『参加確認書』を企業に提出した。

【評価と今後の課題】

コロナ禍の影響からか、単位認定に必要な5日以上の実習をする企業が減り、学生の研修機会が減ると同時

に、前期はオンライン授業が多かったため、例年よりキャリア支援センターへの相談件数も少なかった。また、WEBによるインターンシップも増え、次年度以降はWEB開催の1day 職場体験が増えると予想される。また、現在大学としてインターンシップを推奨しているが、コロナの感染状況次第では、果たして強く参加を呼び掛けて良いかどうかの判断に困ることも考えられる。その際には、WEB開催の研修に参加を呼びかければよいのか。等を今後検討していく必要がある。

5. 国際交流センター業務

・学術交流協定校

令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、新たな協定を締結することはできなかった。

令和3(2021)年3月末現在、海外協定校は12カ国、25大学と1高校である。そのうち6カ国16大学とは交換留学協定を、2カ国7大学とは双方の学位取得可能となるダブルディグリー(2+2)協定を締結している。

次表は、海外協定校一覧である。

表1. 海外協定校一覧 (12カ国、25校、令和3年3月末現在)

NO.	協定校名	国	地域名	締結日
1	ポートランド州立大学 (Portland State University)	アメリカ合衆国	オレゴン州 ポートランド	1999. 2. 10
2	レスブリッジ大学 (University of Lethbridge)	カナダ	アルバータ州 レスブリッジ	2016. 5. 26
3	サザンクロス大学 (Southern Cross University)	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州 リズモア	2013. 2. 6
4	ラトロブ大学 (La Trobe University)	オーストラリア	ビクトリア州 メルボルン	2004. 4. 20
5	EMBA: Ecole de Management de Bretagne Atlantique (旧 ISUGA)	フランス	フィニステール県カンペール	2002. 7. 15
6	国立ウラジオストック経済サービス大学	ロシア	ウラジオストック	2005. 10. 12
7	ファーイースタン大学 (Far Eastern University)	タイ	チェンマイ	2008. 2. 18
8	中国海洋大学	中国	山東省青島市	2004. 7. 1
9	鶴崗師範高等専科学校	中国	黒竜江省鶴崗市	2011. 9. 26
10	大連海洋大学	中国	遼寧省大連市	2006. 9. 12
11	南通大学	中国	江蘇省南通市	2013. 12. 31
12	ハルビン理工大学(栄成学院)	中国	山東省栄成市	2014. 5. 14
13	遼寧師範大学歴史文化旅遊学院	中国	遼寧省大連市	2010. 12. 2
14	鞍山師範学院	中国	遼寧省鞍山市	2016. 6. 6
15	聖公会大学校	韓国	ソウル特別市	2005. 3. 22
16	大邱大学校	韓国	慶山市	2007. 3. 23
17	大邱韓医大学	韓国	慶山市	2017. 1. 14
18	ラーチャモンコン工科大学	タイ	ナーン県	2017. 5. 1
19	マルタ大学 (University of Malta)	マルタ	イムシーダ	2017. 12. 11
20	セントラルフィリピン大学 (Central Philippine University)	フィリピン	イロイロ	2017. 1. 31

	University)			
21	オデッサ大学	ウクライナ	オデッサ	2018. 5. 11
22	信陽師範学院	中国	河南省信陽市	2019. 3. 1
23	サセックス大学	イギリス	サセックス州ブライトン	2019. 3. 14
24	ミズーリ州立大学	アメリカ合衆国	ミズーリ州ケーブジラード	2019. 5. 16
25	瀋陽師範大学	中国	遼寧省瀋陽市	2019. 9. 5

・ダブルディグリー(2+2)協定校

中国の6大学および韓国の1大学との間でダブルディグリーを与える協定が交わされている。この協定に基づいて毎年春と秋に3年次編入生として入学している。平成24(2012)年～令和2(2020)年の累計は35名になった。令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により入学者は0となった。

- ① 大連海洋大学 (中国)
- ② 南通大学 (中国)
- ③ ハルビン理工大学栄成学院 (中国)
- ④ 鞍山師範学院 (中国)
- ⑤ 大邱韓医大学 (韓国)
- ⑥ 信陽師範学院 (中国)
- ⑦ 瀋陽師範大学 (中国)

・日本語教育機関との学生受け入れ協定

令和2(2020)年度末、受け入れ協定校は、以下の日本国内の専門学校4校である。

富山国際学院 (富山県)

- (1) アリス国際学院 (石川県)
- (2) 長野国際文化学院 (長野県)
- (3) 丸の内ビジネス専門学校 (長野県)

・海外留学・海外研修参加者

2020年度は新型コロナウイルス肺炎の世界的流行の兆しの影響により、現社5つの海外研修プログラムが中止となったため、海外派遣は行われず、オンライン留学を2か国で実施した(表2&4)。なお、中止になったプログラムは表4のとおりである。

オンライン留学は計10名、そのうち現代社会学部 英語国際キャリア専攻生の9名がアメリカ ミズーリ州立大学に参加、子ども育成学部からはカナダ レスブリッジ大学に1名が参加した(表3)。全員が英語圏への留学で、中国、韓国への留学はいなかった。

表2. 学部毎の海外派遣学生数

海外派遣総数	2016		2017		2018		2019		2020 (オンライン留学)	
	69		81		98		57		10	
学部	現社	子ども	現社	子ども	現社	子ども	現社	子ども	現社	子ども
	57	12	54	27	80	18	41	16	9	1

留学	11		7		11		8		9	
	10	1	7	0	9	2	8	0	9	0
インターンシップ	3		1		2		3		1	
	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1
研修(教員引率) ※	55		73		85		46		0	
	44	11	47	26	69	16	31	15	0	0

※異文化研修、国際交流実習、ゼミ研修、グローバルキャンパス

表3. 海外留学派遣国内訳 令和2(2020)年度

留学内訳	2018			2019			2020 (オンライン留学)		
	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども
アメリカ	1	1	0	2	2	0	9	9	0
カナダ	1	1	0	3	3	0	1	0	1
オーストラリア	2	1	1	1	1	0	0	0	0
イギリス	0	0	0	1	1	0	0	0	0
マルタ	3	2	1	0	0	0	0	0	0
フランス	0	0	0	1	1	0	0	0	0
中国	1	1	0	0	0	0	0	0	0
韓国	1	1	0	0	0	0	0	0	0
ウクライナ	2	2	0	0	0	0	0	0	0
留学合計	11	9	2	8	8	0	10	9	1

新型コロナウイルス感染拡大のため、従来多かった夏休み期間中の海外留学派遣は実施できなかったが、年度後半にはオンライン留学が実現できた。今後はこのような情勢の中でできる範囲で海外留学、海外研修を促す。

海外派遣促進策のひとつとして、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金が支給される海外留学支援制度(協定派遣)プログラムを申請、採択されたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部は実施できず、2021年度に延長し、実現可能かを探っている。(表4)。

表4. JASSO 奨学金に採択されたプログラム一覧 (2020 年度)

採択プログラム名	受給人数
カナダで学ぶ子ども達への教育と福祉	10
KINABALU ECOLINC PROJECT 協働支援プログラム	12
韓国での地域課題解決基盤創造キャンプ	20
地域のグローバル化を担う海外インターンシップ	9

表5. 海外研修プログラム参加者数

海外研修内訳	2018			2019			2020		
	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども
中国(異文化研修)	8	7	1	7	5	2	0	0	0
韓国(〃)	13	10	3	0	0	0	0	0	0
オーストラリア(〃)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カナダ(〃)	10	1	9	9	0	9	0	0	0
マルタ(〃)	9	9	0	8	6	2	0	0	0
タイ/マレーシア(〃)	7	6	1	0	0	0	0	0	0
デンマーク(環境専門研修)	9	9	0	7	5	2	0	0	0
シンガポール/オーストラリア(経営情報)	20	18	2	6	6	0	0	0	0
インターンシップ(カナダ/ベトナム)	2	2	0	3	2	1	0	0	0
ゼミ研修	9	9	0	9	9	0	0	0	0
研修合計	87	71	16	49	33	16	0	0	0

表6. 中止になったプログラムとその理由

プログラム名	中止理由
異文化研修(各国)前・後期	新型コロナウイルス感染症拡大のため
グローバルキャンパス(環境デザイン専攻)前・後期	〃

・その他のグローバル人材育成の取り組み（英語力を高める取組み）

➤ TUINS English Camp 2020 の実施

例年、7月の2日間に英語だけで過ごす計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、11月に1日のみ実施した。主に留学や海外研修を控えた学生たち11名（現代社会学部 英語国際キャリア専攻3年次生2人、子ども育成学部1～3年次生9人）が英語に慣れ、英語に親しみ、英語に自信を持つなど様々な目的を持って参加した。

実施日：11月7日（土）

場 所：富山ステーションフロントCiC 5階 大学コンソーシアム富山

活動内容：

- (1) English lessons
- (2) Introduction to Africa
- (3) May career-changing medical experience

➤ TOEIC 受験の促進

現代社会学部、子ども育成学部共に正規授業としてTOEICの授業を開講して受験の備えを行っている。また、本学学生のためのTOEIC団体テスト（TOEIC IP）を12月20日（日）に実施した。本来、1年次で470点以上、2年次で600点以上、3年次の終わりまでに730点を超えることを目標に設定し、これらを超える得点となった学生には報奨金を与えている。

➤ TOEIC IP テスト受験者数と結果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年、6月に実施しているTOEIC IPテスト実施を見送り、12月20日（日）の1回実施とした。受験者は計19名（現代社会学部生14名、子ども育成学部生5名）で、最高スコアが785点、最低が305点だった。470点以下が最も多く、600点以上は両学部合わせて5名、730点以上はひとりもいなかった（表7）。

表7. TOEICIP テスト全学及び学部ごとの集計結果

	全学	現社	子ども	全学	現社	子ども	全学	現社	子ども
試験日	2019/6/15			2019/11/30			2020/12/20		
受験人数	65	40	25	8	3	5	19	14	5
～470	53	34	19	6	2	4	11	6	5
470～599	10	5	5	1	1	0	3	3	0
600～729	2	1	1	1	0	1	2	2	0
730以上	0	0	0	0	0	0	3	3	0
800以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均点	372	355	399	424	377	103	479	507	330
最高得点	710	610	710	710	505	710	785	785	455
最小得点	170	170	250	275	275	345	305	330	305

・その他語学関連の取組み

- (1) English Café では600名の利用があった。（前期、対面授業が減ったので、前年度より20名減。）
- (2) English Camp は2学部から11名が参加した。
- (3) グローバル人材1名取得（現代社会学部）。

・チューター制度の実施

日本人3名、留学生1名がチューターとなった。日本人チューターは基礎日本語や日本語補習授業に参加し、会話練習の補佐を行った。休み時間中に日本語以外の授業のノート指導をする学生もいた。留学生チューターは、母国語の授業に参加して担当教員をアシストした。このようなチューター制度を通し、留学生と日本人学生の交流が深まることを期待している。

・外国人留学生受入数（交換留学生を含む）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入国が著しく制限される状況にあったため、正規生の新規受け入れはなく、研究生1名及び科目等履修生1名受け入れがあったのみである。

・留学生の進路（2021年3月卒業生）

2020年度の学部卒業生は9名、県外就職は3名、県内就職は2名、帰国者が4名であった。

・学年別留学生在籍数

期・国籍 学年	前期	中国	韓国	ベトナム	ネパール	後期	中国	韓国	ベトナム	ネパール
1年次生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年次生	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1
3年次生	9(3)	6(3)	0	3	0	6	3	0	3	0
4年次生	12(4)	9(4)	2	0	1	14(6)	11(6)	2	0	1
合計	23	16(7)	2	3	2	22	15(6)	2	3	2

※1 ()は編入2+2の学生

※2 2020年度在籍非正規留学生（全て交換留学生）は前期のみ6名（中国5名、韓国1名）

・奨学金受給状況

奨学金名	金額（月額）	受給人数	
		前期	後期
富山国際大学奨学金	2万円 ※1	11	9
富山県国際交流奨学金	5万円 ※2	3	3
JASSO 学習奨励費	4万8千円 ※3	1	3
ロータリー米山記念奨学金	10万円 ※4	1	1
朝日国際教育財団	3万5千円	4	4

※1 富山国際大学奨学金（2万円）は協定校からの入学者のみに支給（対象外は前後期共5名）

※2 富山県国際交流奨学金（5万円）受給者のうち1名は協定校外の学生

※3 新型コロナウイルス感染症等の影響による経済的理由により、後期に追加募集2名×1か月分あり。

※4 前年度からの継続支給者。

・日本語能力検定試験 各学年の合格者数：

2020（前期）				2020（後期）		
学年	在籍数	N1人数	N2人数	在籍数	N1人数	N2人数
1年	0	0	0	0	0	0
2年	2	0	0	2	0	0
3年	9	0	5	6	0	4
4年	12	2	6	14	3	6